

ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名 エックス・ポーネント	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.480	△RG 0.042	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：エックス・ポーネント

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：ウルヴァリン・ダークモス

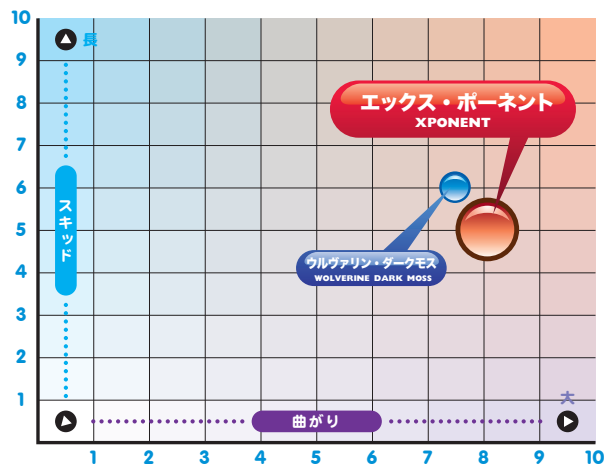
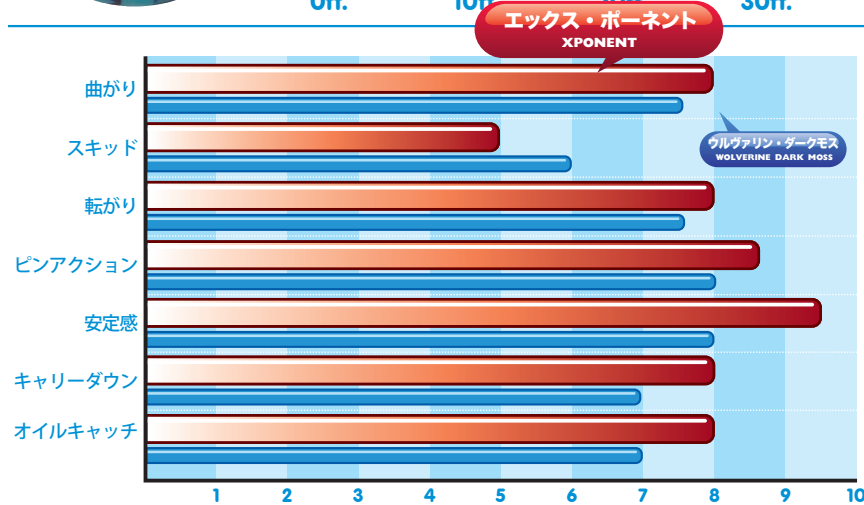
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

XPONENTに採用されたNew BlendはReserveBlend 701 Solidカバーストックで、900Globalはベンチマークボールとして位置付け、ラインナップに組み込んできました。Solidリアクティブで#4000アブラロン加工。

カバーの性質は”700シリーズ”を継承しているのでそれほど強くはないのですが、この強さ加減のバランスが良く、900Globalが描くベンチマークボールとして完成度は高いと言えるでしょう。

XPONENTを投球すると、対峙するコンディションがフロントエリア、ミッドエリアのオイル量が自分にとって多いのか少ないのかを的確に知ることができます。

走り過ぎると感じればXPONENTよりもキャッチの強いボールにチェンジすることもできるし、噛みあがり強いようであれば走り系へのチェンジもXPONENTは導いてくれます。

Solidカバーゆえに性質上非常に滑らかですが、バックエンドの動きはSolidカバーの中では俊敏で、幅広いオイルパターンと様々なスタイルにマッチするでしょう。

様々なラインを投球すると手前のオイルが薄過ぎなければかなり幅広いコンディションへの対応が可能です。

900Globalブランドはベンチマークになるラインがありませんでしたが、Reserve Blendの701 Solidのカバーは奥の動きも角度が出ますし、オイルを読み取るにも中盤のレパトリーとしても非常に重宝するのではないかと思います。

特記事項

弱めのSolid素材で万能にコンディションを読み取ることができるベンチマーク的なボールです。バックエンド性能も高めてあるので、実用的に所持ボールを少なくすることができます。